

平成29年土佐清水市議会定例会6月会議審議期間日程表

◇ 審議期間 6月12日～6月28日（17日間）

日次	月日	曜	会 議 別	開会時刻	議 事 内 容	備 考
第1日	6月12日	月	本 会 議	午前10時	1. 再 開 2. 議席の指定及び一部変更 3. 審議期間の決定 4. 会議録署名議員の指名 5. 諸般の報告 議会事務局長 6. 議案の上程 提案理由の説明…市長 予算・条例等内容説明 …企画財政課長等 7. 散 会	
第2日	6月13日	火	休 会			
第3日	6月14日	水	休 会		質疑・一般質問通告書の提出期限午前11時まで	
第4日	6月15日	木	休 会			
第5日	6月16日	金	休 会			
第6日	6月17日	土	休 会			
第7日	6月18日	日	休 会			
第8日	6月19日	月	本 会 議	午前10時	質疑・一般質問	
第9日	6月20日	火	本 会 議	午前10時	一般質問	
第10日	6月21日	水	本 会 議	午前10時	一般質問・議案の委員会付託	
第11日	6月22日	木	休 会	午前9時		予算決算 常任委員会
第12日	6月23日	金	休 会	午前9時		総務文教 常任委員会
				午後2時		産業厚生 常任委員会
第13日	6月24日	土	休 会			
第14日	6月25日	日	休 会			
第15日	6月26日	月	休 会			
第16日	6月27日	火	休 会			
第17日	6月28日	水	本 会 議	午前10時	1. 委員長報告 2. 質疑・討論 3. 採 決 4. 議員派遣 5. 散 会	

平成29年土佐清水市議会定例会6月会議委員会付託議案一覧表

◇ 予算決算常任委員会（29.6.21付託）

番 号	件 名
議 案 第29号	平成29年度土佐清水市一般会計補正予算（第2号）について
第30号	平成29年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

◇ 総務文教常任委員会（29.6.21付託）

番 号	件 名
議 案 第31号	土佐清水市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第32号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◇ 産業厚生常任委員会（29.6.21付託）

番 号	件 名
議 案 第33号	土佐清水市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
第34号	字の区域の設定，変更及び廃止並びに町の区域の変更について
第35号	債権の放棄について
第36号	債権の放棄について
第37号	負担付き贈与の受納について

平成29年土佐清水市議会定例会6月会議議案等件名及び議決結果一覧表

◇ 今会議提出分（市長提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
報告第6号	専決処分した事件の報告について（平成29年度土佐清水市一般会計補正予算（第1号）について）	6.12	—	—
第7号	専決処分した事件の報告について（土佐清水市道路の構造の技術的基準及び道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例の制定について）	〃	—	—
第8号	専決処分した事件の報告について（土佐清水市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について）	〃	—	—
第9号	専決処分した事件の報告について（半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	〃	—	—
第10号	専決処分した事件の報告について（固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	〃	—	—
第11号	専決処分した事件の報告について（土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	〃	—	—
第12号	専決処分した事件の報告について（住宅使用料の債権放棄について）	〃	—	—
第13号	専決処分した事件の報告について（水道使用料の債権放棄について）	〃	—	—
議案第29号	平成29年度土佐清水市一般会計補正予算（第2号）について	〃	6.28	原案可決
第30号	平成29年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃
第31号	土佐清水市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第32号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第33号	土佐清水市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃

第 3 4 号	字の区域の設定, 変更及び廃止並びに町の区域の変更について	6 . 12	6 . 28	原案可決
第 3 5 号	債権の放棄について	〃	〃	〃
第 3 6 号	債権の放棄について	〃	〃	〃
第 3 7 号	負担付き贈与の受納について	〃	〃	〃
同 意 案 第 1 号	固定資産評価員の選任について	〃	〃	同意

◇ 今会議提出分（委員会及び議員提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会 議案第1号	ビキニ被災者に必要な救済措置を講ずることを求める意見書の提出について	6. 28	6. 28	原案可決

平成29年土佐清水市議会定例会6月会議意見書議決結果一覧表

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会 案第1号	ビキニ被災者に必要な救済措置を講ずることを求める意見書の提出について	6.28	6.28	原案可決

平成29年土佐清水市議会定例会6月会議選任事項表

事 項	選任月日	方 法	人員	氏 名	
常任委員会	予算決算	5. 23	指名（委員会 条例第7条第 2項規定）	1	甲藤 眞
	産業厚生	5. 23		1	甲藤 眞

平成29年土佐清水市議会定例会6月会議一般質問通告一覧表

◇一般質問

順位	質問者	質問内容
1	7番 小川豊治君 (一問一答)	1 水産業の現状と課題について ○漁獲量の実績と今後の見通しについて ○後継者対策の実態 ○サンゴ漁の実態と今後の見通し ○メジカ漁業の現状と分析 ○養殖漁業への取り組みは ○今後の重点的な施策について
		2 観光産業の実態と今後の取り組みについて ○観光客の動向・客層の分析 ○受け入れ態勢の状況の推移 ○経済効果について ○竜串地区の再開構想について ○これからの重点的な政策について
2	6番 森一美君 (一問一答)	1 市民の健康推進について ○かかと落とし運動のその後について ○関係者に推奨できないか
		2 日本ジオパーク認定に向けて ○今回指摘された課題は ○次回に向け頑張ろう
		3 公共施設等総合管理計画について ○計画の目的及び現状について ○今後の計画等について
		4 ドローンの活用について ○ドローンの訓練状況について ○各種方面での活用について
3	10番 岡崎宣男君 (一問一答)	1 メジカの確保方策等について問う ○現場漁師・関連業者の実態把握と声は届いているか ○メジカの水揚げは全国的にほとんどないと聞くが本市の影響は ○メジカ関連業者の統計は何名か、不漁による影響は如何なものか ○土佐食は原魚もなくこの状態が続けば休業との声も聞かれるが、どのように考えているか ○不漁の原因について黒潮の離岸・水温等が影響していると言われているが、担当課はどのように捉えているか ○今回の原魚不足の件については、市・県・国等広域的に取り組む必要があり、相互の連携が必要と思うが如何か

		<p>2 市長の政治姿勢について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助金の契約について問う（土佐清水市契約規則の遵守はされているか） ○財政状況は厳しいと聞くが昨年とどのように差異があるのか（高知新聞参照）
4	<p>4 番 前田 晃君 (一問一答)</p>	<p>1 不妊治療費の助成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県・国の助成制度について ○市町村の助成制度について <ul style="list-style-type: none"> ・県下市町村の状況 ・四万十市と黒潮町の助成制度 ○本市の助成制度の創設を <ul style="list-style-type: none"> ・「人工授精」と「体外受精」への助成 <p>2 広報等の配布に関わって</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報等の配布の原則について <ul style="list-style-type: none"> ・全世帯に等しく配布する ・広報等を受け取る市民の権利 ○ボランティアでの配布について <ul style="list-style-type: none"> ・未配布世帯への対応と現状 ・未配布世帯が解消できない理由 ・未配布は市の責任で対応すべき ・「津波ハザードマップ」の配布 ○配布委託契約について <ul style="list-style-type: none"> ・区長手当での委託か配布委託契約 ○行政と自治会の関係について <p>3 政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後の財政運営について <ul style="list-style-type: none"> ・市民の負担について ・財政状況の見通し ○「核兵器禁止条約」について
5	<p>1 番 甲藤 眞君 (一問一答)</p>	<p>1 土佐清水市の奨学資金制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○制度の概要について ○現在の状況について ○制度の拡充を
6	<p>3 番 細川博史君 (一問一答)</p>	<p>1 地域支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容について ○これまでの実績について ○今後の見通しについて

		<p>2 日本ジオパーク認定見送りを糧に ○認定審査について ○申請書、プレゼンテーションについて ○審査結果報告について ○認定見送りを糧にさらなる推進を</p> <p>3 集落活動センターの推進について ○県内の設立状況は ○本市の取組状況は</p>
7	<p>5 番 浅尾公厚君 (一問一答)</p>	<p>1 防災について ○「みんなでかんがえよう！南海トラフ地震」の説明会開催に当たって、住民への周知は？</p> <p>2 光回線について ○光ファイバーの拡大、整備は？</p>
8	<p>2 番 田中耕之郎君 (一問一答)</p>	<p>1 防災対策について ○防災対策のソフト画の強化について</p> <p>2 水産業について ○本市の水産業の課題について</p> <p>3 市長の公約について</p>
9	<p>9 番 永野裕夫君 (一問一答)</p>	<p>1 平成27年度（4月）から平成29年度（4月）までの議会報告会の検証と今後について</p>
10	<p>12 番 武藤 清君 (一問一答)</p>	<p>1 「首長の免責」について ○地方自治法改正のポイント ○条例化へ検討しては</p> <p>2 教育問題 ○教職員の負担軽減を ○よもや「教育勅語」の教材化はないでしょうね</p> <p>3 がんばれ「下川口家」！ ○取り組みの経過 ○これから先はどうする</p>

市議会議案第1号

ビキニ被災者に必要な救済措置を講ずることを求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成29年6月28日

議長 仲田 強 様

提出者	前田 晃
賛成者	小川 豊治
	西原 強志
	永野 裕夫
	岡崎 宣男
	武藤 清

ビキニ被災者に必要な救済措置を講ずることを求める意見書

1954年3月1日からマーシャル諸島ビキニ環礁で行われた米国の水爆実験（キャッスル作戦）により、第五福竜丸のほかにも約1000隻に及ぶ被災船がいることが明らかになっています。ところが、日米両政府は、水爆実験による被災船や乗組員の被災状況を調査したにもかかわらず、ほとんど対策を講ずることもなく、1955年1月にわずかな補償金を米国が支払うことで政治決着をしました。以来、60年余りにわたり被災したマグロ船や貨物船の乗組員に対する救済措置は行われず放置されたままになってきました。

土佐清水市においては、30年前の1987年に市独自で被災した乗組員の調査を行い、267名の本市出身の元乗組員の存在が確認されています。しかしながら、国の救済措置はなく、大半の方が既に亡くなり、今日に至っています。

2014年9月、厚労省は、それまで保管していた被災船や乗組員の被災資料を開示しました。厚労省には、この開示した資料に基づき、関係都道府県及び漁協などと連携して、直ちに全国の元乗組員の実態調査を行うことが求められています。

高知県では、2016年3月の県議会において、「ビキニ水爆実験に関する元乗組員等への健康影響について国の公式見解を求める意見書」が全会一致で採択されています。また、尾崎知事は、2016年9月の県議会で、「ビキニ被爆被災船員に対して、国は科学的検証を行って対応するよう提言している。さらに、県主催で健康相談会を開催してきた。また、船員保険の労災申請の手伝いを行うなど、県としても問題に積極的に取り組んできた。ビキニ被災事件の記録もしっかり残すことは非常に大事だ。」との認識を示しました。そして、山本有二農水大臣も、2017年4月の参議院農林水産委員会の答弁の中で、ビキニ被災問題のスムーズな解決に向けて努力する意向を表明しています。

高知県においては、2015年から県内3か所で元乗組員の健康調査及び内部被爆に関する研究報告会が行われ、広島大学原爆放射線医科学研究所のチームが、漁船員の歯や血液の解析から核被災を解明する研究を報告しました。こうした科学的知見を政府として積極的に受け止め、政府が保管している当時の被災船と乗組員の实態調査を関係都道府県と協力して行うとともに、一日も早い被災漁船員に対する救済措置を講ずる施策を求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年6月28日

土佐清水市議会議長 仲田 強

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

衆議院議長 大島 理森 殿

参議院議長 伊達忠一殿
厚生労働大臣 塩崎恭久殿
農林水産大臣 山本有二殿

議員派遣の件

平成29年6月28日

地方自治法第100条第13項及び土佐清水市議会会議規則第167条の規定により、次のとおり議員を派遣する。

1 平成29年度土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会定期総会

- (1) 目的 中村・宿毛線の維持整備、長期安定経営を確保し鉄道利用者や地域住民の利便性の向上を図ること
- (2) 派遣場所 四万十市
- (3) 期間 平成29年7月14日
- (4) 派遣議員 田中耕之郎

2 平成29年度市町村議会議員研修会

- (1) 目的 地方分権時代における市町村議員の役割と責務を認識し、地方議会制度の基本的な考え方や現状について理解を深めるため
- (2) 派遣場所 高知市
- (3) 期間 平成29年7月20日
- (4) 派遣議員 議長において決定する議員